

とうきょうすくわくプログラム 2025年度活動報告書

ひだまり保育園（世田谷区）





テーマ：『自然』

- このテーマにした理由：泥や実のなる木、様々な草花、虫などがいたり、野菜を育てたりしている自然豊かな園庭があり、0～5歳児までがその中で“出会い”、“触れ合うこと”を楽しんでいるため。また、その環境をさらに豊かにすることで、より探求を楽しめるようにしたいという思いから『自然』をテーマに設定しました。



【1歳児クラス 栽培して食べる！！】

0歳児の頃から、しいたけを食べることを好んでいる子がいた。他の子どもたちも、給食や絵本できのこを見つけると、「きのこだ！」と話して楽しんでいる姿があった。そこで、“育っていく過程を見て、知る”“自分たちで育てて食べる”“料理をしているところを間近で見て、再現することを楽しむ”“育てたきのこを美味しく食べる中で、様々な食材や調味料との出会いを楽しんだり、身近に感じる”ということができたらいいなと思い、様々なきのこを育ててみることにした。



用意したもの

①	しいたけ栽培キット	①	ホットプレート
②	トマトの苗	②	フライパン
③	植物保護カバー	③	包丁
④	キクラゲ栽培キット	④	炊飯器
⑤	しいたけの原木	⑤	カセットコンロ
⑥	野菜5種	⑥	温度計
⑦	ブロッコリーの苗	⑦	木製イーゼル
⑧	白菜の苗	⑧	焼き海苔
⑨	エリンギ栽培キット		
⑩	えのき栽培キット		

環境スケジュール

活動内容		日付	人数
①	しいたけの原木を育てる 準備をし、育てる	3月28日	9
②	しいたけをお味噌汁に入 れて食べる	4月8日	9
③	焼きしいたけと しいたけごはん作り	5月1日	9
④	トマトの苗を植える	5月16日	9
⑤	しいたけの原木Part2 を育てる	6月13日	9
⑥	しいたけの佃煮を作り	6月19日	9
⑦	きくらげとにんじんの きんぴら作り	7月1日	9
⑧	トマトを食べる	7月14日	9
⑨	きくらげとトマトの 中華サラダ作り	7月18日	9
⑩	きくらげで海苔巻き作り	8月1日	9
⑪	野菜ときのこのスタンプ	8月7日	9

活動内容		日付	人数
⑫	冬瓜とすいかは違う？	8月29日	9
⑬	きくらげの海苔巻き作り (たまご入り)	9月12日	9
⑭	大きなしいたけの原木 を育てる	10月9日	9
⑮	白菜とブロッコリー の苗を植える	10月28日	9
⑯	育てたエリンギを食べる	11月11日	9
⑰	育てたえのきを食べる	11月20日	9



活動① しいたけの原木を育てる準備をし、育てていく。

実践

●活動内容

- ・しいたけの原木を見る、触れる。
- ・しいたけを栽培する準備を行い、水やりをする。

●子どもたちの様子

- ・原木を子どもたちに「きのこが出来るんだよ」と伝え、見せると、「きのこ！」と大興奮。
- ・原木を水に浸してから栽培を開始するため、原木をタライに入れたら、お風呂に入れるイメージで「ジャブジャブ！！」と言いながら、水をかけていた。水の色が茶色く変わっていったり、きのこの独特な香りに気が付き、不思議に思ったりしていた。



振り返り

初めてしいたけの原木を見た子どもたちは、ここからしいたけが出てくるという未来は想像ができないけれど、「きのこ」という言葉でワクワクしたり、しいたけの色や香りも準備の段階から感じる事ができたり、原木に触れる体験やしいたけもお風呂に入るといったイメージをしたりと楽しめたことで、より親近感が湧いているようだった。

活動② しいたけをお味噌汁にして食べる。

実践

●活動内容

- ・大きく育ったしいたけを台所に来てもらい、目の前で〈出汁を作る→野菜を切る→鍋で煮る→味噌を入れる〉としてお味噌汁を作ってもらう。
- ・合間で、しいたけを原木から収穫と出汁2種（昆布・かつお）の味見をする。
- ・出来上がったお味噌汁、入っているしいたけを食べる。



振り返り

作っている過程を見ているところから、しいたけの収穫や出汁を取る前の昆布、そこから出た出汁、包丁、火、鍋、味噌…と様々な出会いがあったことで、子どもたちはより夢中になってみたり、参加したりしていた。実際に出来上がったものを給食の時に食べると、「これ保育園のきのこ？」と育てたきのこかどうかを確認したりもしていて、自分たちで育てたものが入っているって嬉しいんだなと感じた。

活動③ 焼きしいたけとしいたけごはん作り

実践

●活動内容

- ・2回目の収穫をする。
- ・“焼きしいたけ”と“しいたけごはん”を作って食べる。

●子どもたちの様子

- ・目の前でしいたけをジュージュー焼いてもらい、だんだんと香りがしてくると、「いいにおい…」「おいしそう～」と声にする。醤油をかけて食べると、はじめは食べることは見た目から乗り気でなかった子も舐めてみたり、小さくかじってみていた。
- ・しいたけごはんも炊飯器に切ったしいたけを入れるお手伝いをしたのと、部屋で炊飯したことで、空気が抜ける音や炊き立ての蒸気や香りまで感じる事ができ、お代わりを何度もして食べていた。



振り返り

2回目の収穫だからか、子どもたちの収穫の仕方、しいたけの洗い方に慣れが見えてきていた姿から、自信をもって楽しんで行っているのだなと感じた。また、炊飯する過程も楽しめたことで、作った実感がより増したようだった。

活動④ トマトの苗を植える

実践

●活動内容

- ・土をプランターに入れて、混ぜる、苗を植える、水をあげるを大人を真似ながら、トマトの苗を植えてみる。

●子どもたちの様子

- ・土をプランターに入れて混ぜるところから、記憶にははじめてのことだからか、とても楽しんで積極的に行っていた。
- ・苗を植える時に茎を折ってしまったハプニングもあり、苗の心配をする。
- ・水をあげている時はしいたけと同様、お風呂に入れている気分で「気持ちいいね～♪」と声をかけていた。



振り返り

土を入れるところから全てを体験したことで、きのことは違う育て方や過程を感じられるきっかけになったようだった。同時に、水をあげるという共通点があるので、子どもたちにはトマトがどのように見えて、何を感じているのだろうかと不思議に思った。とても身近なトマトの見え方や思いは変わっていくのかな？いざ出てきたらどんな反応をするんだろう？とワクワクした。

活動⑤ しいたけの原木Part2を育てる

実践

●活動内容

- ・2度目のしいたけの原木を栽培する準備をして、育てる。

●子どもたちの様子

- ・原木を袋から出すと、「きのこ！」「しいたけ！」と口にする。
- ・水をかけて、ケースに入れる、毎日水をあげる、という流れを覚えているようで、たらいに水を入れると、大人が声をかける前にお風呂に入れるように水をかけていた。



振り返り

前回の原木が3回目を育てている時にカビが生えてしまい、お別れをしたのだが、そのあとも「きのこは？」「きのこ食べたい」と言葉にしていた。新しいしいたけが来た嬉しさやまた食べられる楽しみを感じながら栽培の準備をしていたように感じた。

活動⑥ しいたけの佃煮作り

実践

●活動内容

- ・しいたけの佃煮を作ってもらい、食べてみる。

●子どもたちの様子

- ・包丁の音や似ている時のグツグツしている音、湯気、香りなど様々なことに気が付き、包丁の手の動きや音の声真似を楽しむ。
- ・クッキングの後はおままごとで醤油を入れたり、スプーンを使って混ぜたり、鍋のふたを開けて「わあ～！」としたり…と再現を楽しむ。
- ・佃煮を給食でご飯にのせて食べてみると、しいたけの乗っているところを中心にごはんを食べていた。



振り返り

クッキングの雰囲気慣れてきたのか、緊張する様子がなくなり、前回までそこまで気に留めていなかった？包丁や調味料に興味を抱いていて、経験を重ねると感じる事が多くあること、さらに重ねるとどうなっていくのか、ということに気が付いた。

活動⑦ きくらげとにんじんのきんぴら作り

実践

●活動内容

- ・しいたけと並行して栽培していたきくらげを、にんじんと一緒にきんぴらにしてみよう、食べてみる。
- ・事務所へ、自分たちでにんじんを買いに行く疑似体験をする。

●子どもたちの様子

- ・お買い物をする再現を楽しんでいたため、買い物の疑似体験は積極的に、少しドキドキしながらも自信を持った表情で行っていた。
- ・にんじんに実際に触れたり、香りを嗅いだり、洗ったりをきくらげと同時にやる。しいたけと同様、大人を真似ながら慣れた手つきで行っていた。
- ・包丁のトントンの再現を足でもやる。
- ・早く食べたくて、調理中に何度も「くださーい！」と言う。



振り返り

収穫と洗う手伝いをして、包丁やフライパン、火、調味料が出てくると、もうすぐ食べられようという流れを理解しているため、食べることを楽しみに思っている姿がとてもよく見られた。香りからも楽しみが広がっているように感じた。

活動⑧ トマトを食べる

実践

●活動内容

- ・育てていたトマトを収穫して食べる。

●子どもたちの様子

- ・トマトを切っている様子を見て「トマト！」と声にする。
- ・触ってみたり、なめてみたり、1口は口にしてみたりしていた。「おいしい」と食べたり、少し甘酸っぱくて残したり…と様々な反応をしていた。



振り返り

きのこは室内で栽培していたのでとても身近に感じているようだったが、トマトは外での栽培。部屋の目の前の園庭で育てていたが、暑くて園庭へ出る機会が少なかったり、害虫や鳥対策でしていた植物保護カバーで少し見えにくかったりしたからか、トマトが実ったことには気が付くものの、きのこほどの興味や関心は見られなかった。

活動⑨ きくらげとトマトの中華サラダ

実践

●活動内容

・部屋で育てているきくらげと園庭で育てているトマトを使い、中華ドレッシングをかけてサラダ作りをして、食べてみる。

●子どもたちの様子

- ・トマトの収穫をやりたい人で行う。
- ・調理前からワクワクしているのか、「き、き、きのこ♪」と歌う。
- ・きくらげをゆでる際に、火と湯気を見て「あちちだよ～」と言う。
- ・いい香りがしてきたことを口にする。
- ・きくらげもトマトもどちらも食べられたこと、おいしいと感じたことを大人に共有しながら食べる。



振り返り

きくらげもトマトもどちらも育てたことを感じているからか、これまで以上に調理前からワクワクしているように感じた。前回、好みの分かれたトマトも、ドレッシングの味付けなのか、きくらげと一緒にだからか、トマトの成長過程を前回よりも感じる事ができたからなのか、おかわりもして食べていた。

活動⑩ きくらげで海苔巻き作り

実践

●活動内容

・『のりまき』という絵本を真似て、海苔巻き作りをして食べてみる。

●子どもたちの様子

- ・朝から友だちと『のりまき』の絵本を見て、「きくらげ食べようね!」「きくらげじゃないよ。きのこだよ!」「きくらげだよ!」と話して笑い合う。
- ・きくらげの収穫をして洗ったり、調理しているところを見る。
- ・これまでになかった、〈海苔で巻く〉という工程を見て、「わぁ!」と声を上げる。
- ・ままごとで海苔巻きの再現をする。



振り返り

少しずつきのこの名前を覚えたり、クッキング前にワクワクしたり、絵本から食べたいものを見つけたり、実際に見てからの再現がとてもありアルさが増していたりしている。新たな調理法を知ると共に、新たな〈巻く〉という動きも楽しめているようだった。

活動⑪ 野菜ときのこのスタンプ

実践

●活動内容

- ・オクラ・きゅうり・ピーマン・パプリカ・小松菜・しいたけ・しめじを使って、野菜スタンプを楽しむ。
- ・これらの野菜に触れてみる。

●子どもたちの様子

- ・買ってきた野菜の袋を開けた時の香りに気がつく。しめじによく反応し、「きのこ！」と大興奮。他の野菜は「おやさい」と答える。
- ・野菜の香りを嗅いだり、触れたり、観察をする。
- ・大人や友だちを真似て、スタンプしてみる。紙だけでなく、手にも塗る。
- ・オクラを分解し、中の種を見る。他の野菜もちぎってみる。



振り返り

野菜をすぐにスタンプや遊びに使わず、まずは香りを嗅いで、触ってみるということをしている子どもたちの姿にこれらが食べ物だとわかって大切に扱っているように感じた。いざスタンプを始めると、スタンプを楽しんでいたが、少しすると、野菜自体の興味を深めていっているようだった。野菜がどんなものなのか知りたいのだと感じた。

活動⑫ 冬瓜とすいかは違う？

実践

●活動内容

- ・冬瓜とスイカを丸ごと用意し、見比べたり、触れて香りを嗅いだり、切ってみたり、食べてみたりして違うものなのか、同じものなのか、どんなものなのかを知る。

●子どもたちの様子

- ・すいかを見ると「すいか！」と大興奮。冬瓜を見ると初めてのモノに頭の中が？でたくさんの表情で固まる。次第に「すいかのお友だち！」と、給食の時に知ったことを言う。
- ・すいかは皮まで食べようとする。
- ・冬瓜は煮たものを食べると、好みが分かれ、1口食べて「嫌いだった…」と言う子と、普段は手を付けないのにおかわりをたくさんしたい子といた。



振り返り

冬瓜は給食では見たことがあるけれど知らない存在だったからか、すいかほども興奮はないけれど、少しずつ触れたり、香りを嗅いでいく中で知っていているようだった。すいかの友だち（ウリ科）と聞いた時から、何か違いや似ているところなどを感じているようだった。実際に触れる、香りを嗅ぐ、舐めたり食べたりするをすると、そのモノと親しくなれるのかなと感じた。

活動⑬ きくらげの海苔巻き作り (たまご入り)

実践

●活動内容

- ・絵本『のりまき』とほぼ同じ海苔巻きを作って食べる。
(前回したきくらげときゅうりの海苔巻きに、にんじんとたまごを入れる。

●子どもたちの様子

- ・朝から壁に貼ってある海苔巻きの写真を指さして、楽しい話を話す。
- ・調理してくれる台所の職員を見て、「のりまきまきまきするの!」と喜ぶ。
- ・初登場のたまごを見て「たまごだー!!」と大興奮。
- ・いい香りがしてくると、思わず立ち上がって「わーい!!」と言う。
- ・再現遊びでの海苔巻きの具を多めにして巻く。



振り返り

絵本と同じように作って食べたいという思いが叶って喜ぶ子や、新たな食材のたまごに興味をもっておいしさを感じている子がいた。また、海苔で巻く時に具があふれそうになったのも見ていたからか、再現遊びの時の海苔巻きも具沢山にしていた姿から、よく見ているんだな、巻けるか巻けないかとみんなで見守った時間がとても印象的だったのかなと感じた。

活動⑭ 大きなしいたけの原木を育てる

実践

●活動内容

- ・大きなしいたけの原木に水をあげてを育てる

●子どもたちの様子

- ・大きなしいたけの原木3本を園庭に置いている姿に興味を持つ。
- ・木にしか見えないが、「しいたけができるかもしれない」と聞くと「え!？」と驚き、水やりをしていた。
- ・「しいたけどこ?」と木をじっくりと見て、探す。



振り返り

しいたけの栽培を経験しているが、今までのモノと形や水のつけ方などが違うことで、本当にしいたけなのか?出てくるのか?これはなんだ?と様々な思いが出てきたようだった。本当に出てきたらどんな反応をするのか楽しみに思う。

その後、湿気などが足りないのか、なかなかしいたけは出て来ずにいる…。

活動⑮ ブロッコリーと白菜の苗を植える

実践

●活動内容

- ・冬野菜のブロッコリーと白菜の苗を植えて育てていく。

●子どもたちの様子

- ・土を混ぜる時に、いつも掘っている地面の土よりもふかふかで掘りやすいのか、掘ることを楽しむ。
- ・白菜の苗の葉っぱの少しふわふわした感触に興味を持ち、何度もつついたり、つまんだりする。



振り返り

きのこやトマトを育てることを経験してきたからか、土を混ぜる、苗を植えるなどの工程を大人を真似ながらすぐに吸収し、やってみようと楽しんでいるように感じた。大きくなったらどんな反応するのかな？と楽しみにしていたが、うまく育たずに終わってしまった…。また同じものを植えたら覚えているのか気になった。

活動⑯ 育てたエリンギを食べる

実践

●活動内容

- ・しいたけと共に、育てていたエリンギを薄切りにして焼き、醤油をかけて食べる。

●子どもたちの様子

- ・大きくなったエリンギを「おっきいね～」と話す。
- ・切る前から食べたくて前のめりで見る。
- ・調理したものが来ると、ジーっと見つめ、「いらない」とお皿に戻す。
- ・何度もおかわりを求める。



振り返り

エリンギはこれまでのきのこたちと食べる時の形状が違うからか、不思議そうに見つめたり、あまり見たことのない食べ物だと捉えたのか、警戒して食べなかったり…という今までよりも慎重に楽しむ姿が見られた。同じきのこだと言われても、見た目で反応は大きく変わるのだと実感した。変わらず、きのこはおいしいという先入観でどんどん食べている子もいておもしろかった。

活動⑰ 育てたえのきを食べる

実践

●活動内容

・育てていたえのきを照り焼き風に味付け、きゅうりとゆでたにんじんと共に、薄いホットケーキに巻き、手巻きお惣菜クレープにして食べる。



●子どもたちの様子

・自分で野菜とえのきをホットケーキの上にのせて巻いてから食べてみることを大人を真似ながら、やってみようと奮闘していた。
・こぼれてしまっても何度も挑戦したり、そのまま食べてみたり、量を調節したり…と各々楽しんでいるようだった。



振り返り

何度も海苔巻きを通して、巻く姿を見てきていたり、再現することも楽しんできていたからか、こぼさないように巻くことができたり、量を調節したり、という姿も見られていて、改めて繰り返して経験することで楽しめることがあったと感じた。



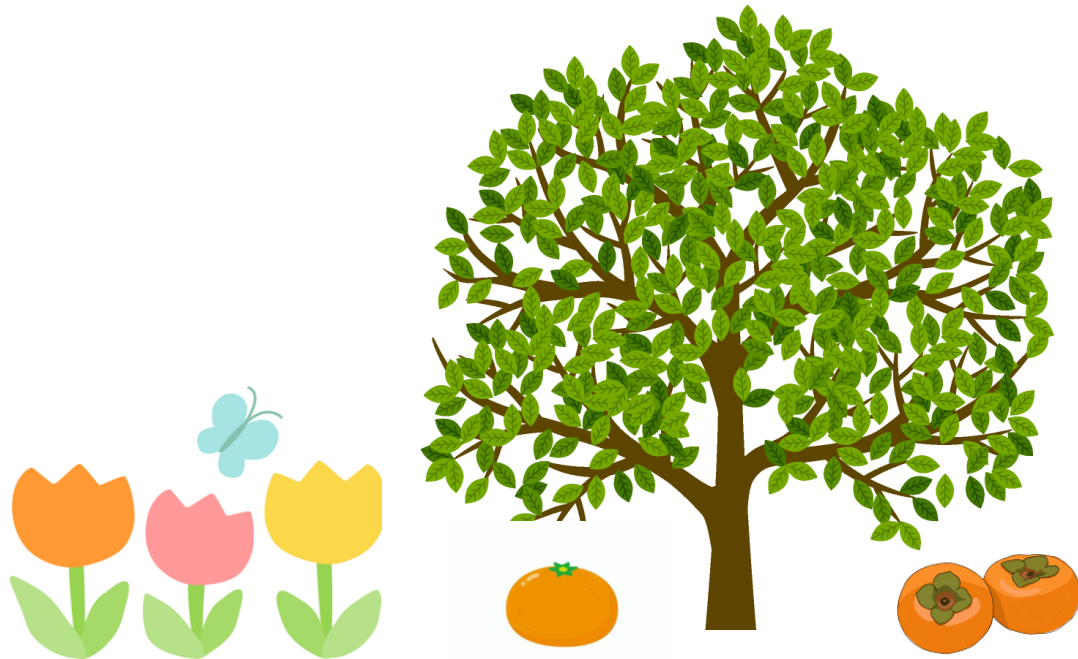
振り返り

実際に「育てて、調理して、食べる」をすることによって、きのこだけでなく、他の食材のことも身近に感じる事ができたようだった。食の好みが出てきて、野菜を食べなくなっていた子どもたちが「これ保育園で育てたきのこ?」「きのこと一緒に食べたね」「にんじんすきになったよ!」などと嬉しそうに話しながら、食べている♪さらに、この体験を通してままごとでの再現もよりリアルになっていった子どもたち! 様々な出会いや身近に感じることから、ドキドキと嬉しさやおもしろさなどがあることに改めて気づかされた。これからも大切にしていきたい。



【 園庭改革！！ 】

0～5歳児まで全クラスが使う園庭全体を「子どもが遊びやすく、探求が深まる環境」にすい、整理された環境に再構築するため、外部専門家である森と市庭さんの協力を得て、職員・子どもたちと共に園庭改革を進めた。



用意したもの

①	シャベル
②	キッチン棚
③	アトリエ画材棚

環境スケジュール

活動内容		日付	人数
①	職員で理想の園庭を考える	11月22日	職員 全員
②	森と市場さんと打ち合わせ、 理想を形にしてい	1月7日	職員 6名
③	園庭の土を平らにする &穴を掘る	3月23日	年長 12名 他
④	園庭にキッチン棚と アトリエ画材棚を設置する	3月23日	森と 市庭
⑤	設置されたキッチンと アトリエで遊ぶ	3月24日 ～	全園 児

活動① 職員で理想の園庭を考える

実践

●活動内容

- ・子どもの遊びの実態を基に、必要な環境・道具・動線を出しあった。
- ・出した案をイメージ図にしてまとめ、外部専門家に相談する準備を整えた。



振り返り

自然豊かな園庭が活かされ、自然物を使ったままごと遊びや、自然物を使ったアトリエ活動が豊かに行える環境を目指していることが確認できた。「子どもの姿から環境を考える」視点が共有され、園庭の可能性が広がった。

活動② 森と市場さんと打ち合わせ、理想を形にしてい

実践

●活動内容

- ・実際の園庭で子どもたちの遊びを観察してもらい、改善案を提案してもらった。
- ・キッチン棚・アトリエ棚の設置位置、動線、素材などを具体化した。



振り返り

専門家の視点が入ることで、園庭のイメージがより明確になり、職員の意欲が高まった。以下のような職員の声が聞かれた。「子どもたちを見ていて、どうにかしたいと思っていたことやより良くしたいと考えていたことをみんなで話し合うことで出すことができ、良い機会になった。」「実際にイメージを画像や絵にしたり、専門家が入ってくださったことで、こうしたいという園庭のイメージが以前よりも広がったり、子どもたちと使うのが楽しみになった」

活動③ 園庭の土を平らにする&穴を掘る

実践

●活動内容

・園庭の土を慣らしてから平らにしてキッチン棚を置いたり、穴を掘ってアクリルボードの位置を動かしたりする準備を手伝う。

●子どもたちの様子

・幼児のやりたい人が集まったため、シャベルやスコップが売り切れているとアイススプーンや太めの枝を選んだり、土が硬いと大人用のスコップを選んだりしながら、森と市場さんの指示をよく聞いて真似ていた。
・土を慣らしている間にカナブンやセミの幼虫を見つけ、大興奮していた。



振り返り

これから園庭が変わるということを期待し、お手伝いをするのが楽しそうだと感じ、立候補した人たちが作業をしてくれていた。他の人も（乳児も幼児も）ずっとテラスや窓からどんなことをしているのか、どうなっていくのかに気になって見ていた。みんな様々な思いで抱いていたのだろうなと感じた。

活動④ 園庭にキッチン棚とアトリエ画材棚を設置する

実践

●活動内容

・園庭にキッチン棚とアトリエ画材棚を設置する様子を見る。

●子どもたちの様子

・棚を設置しながら出てくるトンカチやドリル、電動のこぎりなどに興味を持ち、釘付けになっていた。
・「何をしているの？」と会話しながら、大人の作業を観察し、理解しようとする姿が見られた。
・プロの作業の手さばきに惹かれ、長時間見続ける子もいた。



振り返り

初めて見る道具や作業、大人の動き、集中して微調整などを行っている空気感などが子どもたちを惹きつけていたのかなと感じた。また、プロの仕事を手伝うだけでなく、間近で見ることができたことで興味が向いたり、会話やじっくりと観察することで深めようとしている姿が出てきていたように感じた。

活動⑤ 設定したキッチンとアトリエで遊ぶ

実践

●活動内容

- ・ままごとや絵の具などで遊ぶ

●子どもたちの様子

- ・周りの空間が広がったアクリルボードで、絵描きのように筆とパレットを持って描く。
- ・キッチンで鍋いっぱいにご飯を作ったり、ジュース屋さんを開いたり、ケーキを作ったりする。



振り返り

ままごとでの調理をする場所が増えたことで、以前よりもじっくりとごはんを作ったり、何度もカップをひっくり返すことを挑戦したりとできている様子。机やいすも今は簡易的なモノなので、取り入れていくことでより充実できるように感じた。今後さらに園庭で使える植物や素材を見直し、遊びの中に取り入れていく工夫をして子どもたちの姿がどう変わるのか見ていきたい。

環境スケジュール

【幼児異年齢クラス グリーンカーテンプロジェクト】

人工芝エリアで、ゴロゴロしたり、座って一息ついたりしている子どもたち。5月ごろから日差しが強くなるため毎年遮光布をはっていた。

今年はゴーヤを育ててグリーンカーテンを作り、自然の日陰を作るのはどうかと子どもたちに提案してみる。



活動内容		日付	人数
①	グリーンカーテンとは？	6月20日	年少7 年中7 年長6
②	植えてみよう！	6月20日	年少7 年中7 年長6
③	どうなった？	6月24日～7月22日	年少7 年中7 年長6
④	食べてみよう	8月4日、8月5日	年少7 年中7 年長6
⑤	爆発！	8月12日	年少7 年中7 年長6

テーマ:自然

ひだまり保育園（世田谷区）

活動① ～グリーンカーテンとは？～

環境設定

- 準備したもの
 - ・グリーンカーテンについての手作り紙芝居

実践

- 活動内容
 - ・紙芝居を見て、グリーンカーテンについて考える。
- 子どもたちの様子
 - ・植物でカーテンが出来ること、屋根みたいになることを知り、「やってみたい」とワクワクした様子。
 - ・ゴーヤというワードで「食べ物」であることにも気が付き、育てて食べてみたいと期待を持つ姿もあった。

振り返り

日差しが強くて自分たちが遊ぶスペースが暑くなること、植物のカーテンがどのように出来ていくのか、どうやって植えて、育てていくのか等をイラストを用いて視覚的に伝えることで、子どもたちが想像しやすかったのだと思う。野菜を育てて食べた経験などから、食べ物だと分かった「育てて食べる」という事に繋がったのだと思う。



テーマ:自然

活動② ～植えてみよう～

環境設定

●準備したもの

- ・プランター ・土 ・肥料 ・ゴーヤの苗
- ・スコップ、シャベル、じょうろ（園庭常設）

実践

●活動内容

- ・以前のプランターから雑草を抜き、紙芝居の内容を思い出しながら、土づくりをし、ゴーヤを植える。

●子どもたちの様子

- ・雑草からは根っこの存在に気付いたり、土をシャベルで持ち上げると「重い」「臭い」「土の匂い」「色が違う」「虫が出た」等気が付いたことを言葉にしていた。

ひだまり保育園（世田谷区）



振り返り

引っ張る、持ち上げる、混ぜる、運ぶ、掘る等全身や五感を使って活動したことで子どもたちが感じたことが自然と言葉として表現されていたのだと思う。

テーマ:自然

ひだまり保育園（世田谷区）

活動③ ～どうなった？～

環境設定

●準備したもの

- ・成長がわかるように写真の掲示・絵本

実践

●活動内容

- ・園庭で遊ぶ時間にゴーヤを見る
- ・掲示物で成長の様子をみたり、写真で振り返る。
- ・その他の様々な自然にも関心を持てるように植物や生き物の図鑑を室内に置き、手に取れるようにした。

●子どもたちの様子

- ・園庭で遊んでいる時、ツルがくるくるしているのに気が付き、面白さを感じ、クラスで発表していた。
- ・ボードを見て「こんなに大きくなった」や「虫がいたんだよ」等と成長過程を友だちや保護者と共有していた。
- ・図鑑を友だちと見て葉の形など、ゴーヤとの違いに興味を持っていた。その他の植物にもやってみたいねと話題が広がっていた。



振り返り

成長過程の記録だけでなく、子どもたちの学びを視覚化しておくことで、興味を持つきっかけになったり、自分だけでなく友だちや保護者との共有や振り返りの機会にもなっていた。

また、暑くて外に出れない日が続いたが、室内でも興味を持つ場を作れたことは良かったと感じる。



テーマ:自然

ひだまり保育園（世田谷区）

活動④ ～食べてみよう～

環境設定

- 準備したもの
 - ・ゴーヤ・レシピ・ゴーヤチャンプルーの材料
 - ・ゴーヤの本

実践

- 活動内容
 - ・ゲームにあるゴーヤチャンプルーを見て、必要なものを考えたり、聞いたりする。
 - ・調理して食べてみる。
- 子どもたちの様子
 - ・レシピというゲームにゴーヤチャンプルーがあることに気が付き、作って食べたいという声があがる。
 - ・「ゴーヤは爆発する」と本で知り、「早く収穫したほうがいい」と考える児もいた。



振り返り

普段遊んでいるゲームからゴーヤが使われた料理を見つけていた。普段の遊びの中から知識を得て、それが“やってみたい”という探求活動の材料にもつながっているのだと感じた。

調理過程では包丁の使い方に集中して挑戦したり、指先を使って綿取りをしたり自分たちが育てた物にじっくり向き合う時間にもなっていたようだった。

テーマ:自然

ひだまり保育園（世田谷区）

活動⑤ ～爆発？～

環境設定

- 準備したもの
 - ・ゴーヤの本

実践

- 活動内容
 - ・落ちたゴーヤを見に行く
 - ・やりたい児がゴーヤの製作をする
- 子どもたちの様子
 - ・本を見て、色が変わったり、落ちることを知った。
 - ・園のゴーヤが落ちた時に「本と一緒に！」、「爆発した！」とクラスで話題になった。
 - ・部屋にゴーヤの製作を飾ると熟したゴーヤを作る姿もあった。



振り返り

本を通して、熟したらどうなるのかを知ったことにより、実物を見た時に本物と知識が繋がったようだった。先に知識を知ること、本物に出会った時に気が付く要素になることもあるのだと思った。

また、製作も出来るようにしておくことで、部屋の中でも表現して楽しむ機会を作れたことは良かったと感じる。

この活動を通して、自分たちで育てた物が園庭の環境になったり、遊びの中で得た知識を実際に体験する機会となった。

テーマ:自然

ひだまり保育園（世田谷区）

環境スケジュール

【2歳児クラス トマトを育てて食べる】

台所の手伝いやクッキングを通して興味を持ったり、食べてみようとする姿が多いクラス。
自分たちで育てる経験を通して、食べてみようとしたたり、色々な食材に触れられたら良いなと思い、キュウリとトマトの苗を植える。



活動内容		日付	人数
①	植えてみよう！	5月16日	12
②	トマト収穫	6月24日	12
③	キュウリ収穫	7月8日	12
④	トマトソース	7月17日	12

テーマ:自然

ひだまり保育園（世田谷区）

活動① ～植えてみよう～

環境設定

●準備したもの

- ・プランター・トマトの苗・キュウリの苗

実践

●活動内容

- ・土を入れ、苗を植え、水をあげる。

●子どもたちの様子

- ・苗を見て「キュウリ？」と不思議そうに感じている姿があった。
- ・園庭に常設してあるシャベルを使い土を持ち上げたり、角度を気にしながら混ぜたりしていた。



振り返り

「キュウリ」、「トマト」という言葉で普段食べている状態のイメージが出来ているからこそ、苗を見て違いに気が付いたのだと思う。

また、日常的に使用している慣れ親しんだ道具を使うことで、角度や重さに気が付いたり、体の使い方を探求していたのだろう。

テーマ:自然

ひだまり保育園（世田谷区）

活動② ～トマト収穫～

環境設定

- 準備したもの
 - ・収穫したトマト

実践

- 活動内容
 - ・トマトを収穫し、昼食で食べる。
- 子どもたちの様子
 - ・“自分のクラスの”という認識があり、収穫を喜んでいた。
 - ・赤と黄色の2種類のトマトを収穫し、「黄色」「赤」と色の違いに気が付いていた。
 - ・「酸っぱい」、「甘い」と感じたことを言葉にしていた。
 - ・苦手な子が舐めてみる姿があった。



振り返り

毎日水をあげたり、観察していたからこそ“自分たちのもの”という認識になっていたのだと思う。自分で採った体験や友だちと一緒に同じ物を食べる喜びから、苦手だけど、挑戦してみる力にもなっていたのかもしれない。

色や味の違いを言葉で友だちや大人に伝えようとしていて色や味への興味も感じられた。



テーマ:自然

ひだまり保育園（世田谷区）

活動③ ～キュウリ収穫～

環境設定

- 準備したもの
 - ・収穫したキュウリ、トマト

実践

- 活動内容
 - ・キュウリ、トマトを収穫し、昼食で食べる。
- 子どもたちの様子
 - ・キュウリは1本の収穫だったため、大人が収穫すると友だちと一緒に触ってみる姿があった。
 - ・手に取り、じっくり見る様子もあった。
 - ・台所に切ってもらった物を食べると、「さっきのだね」と嬉しそうにしていた。
 - ・かじった時の音に気が付き音を立てて食べる子もいた。



振り返り

じっくり見ていたのは、普段調理後に出てくる状態と違い、キュウリのそのままの形を初めて見たからなのかもしれない。

また、台所へ自分たちで渡しに行ったことで、昼食時は切られた状態が出てきたが、収穫したキュウリだとしっかり繋がっているんだなと感じた。音に注目したりなど、自分たちで育てた食材に特別感を感じていることが伝わってきた。

テーマ:自然

ひだまり保育園（世田谷区）

活動④ ～トマトソース～

環境設定

●準備したもの

・トマト・包丁・ボウル・鍋・木べら・ガスコンロ・パン作りキット

実践

●活動内容

・パンの生地をこねて焼く。・トマトソース作りを見る。・パンとソースを食べる。

●子どもたちの様子

・生地ベタベタの感触を楽しむ子もいれば、手につくことが苦手な子もいた。
・ソース作りは、火が通ってくると「良い匂い～」と言ったり、「ブクブクしている」と匂いや見た目の変化に気が付いていた。



振り返り

生のトマト以外にもトマトの料理や調理過程を知れたら良いなと思い、園にあるパンキットを使用してパン作りとトマトソース作りをしたが、パン生地という新たな物や感触に出会う機会にもなって良かった。

この活動を通して、育てる過程を楽しむことで特別感を持って食材と関わったり、友だちや大人と発見を共有する楽しさを感じたりする活動となっていて、子どもたちにとっては自分でやってみたり目の前で見る経験は興味を持つきっかけになるのだと感じた。